

1. 研究推進産学官連携機構の 活動方針

1. 1 研究推進産学官連携機構の活動方針

「岡山大学研究推進産学官連携機構」は、平成 15(2003)年に設置された「岡山大学研究推進・産学官連携機構(知的財産本部)」を母体とし、平成 20(2008)年 4 月の組織再編により全学的な部局の一つと位置づけられました。

当機構は、岡山大学における広範な領域の学術研究の強化・推進を図るとともに、研究の成果としての知的財産を組織的に管理・活用し、産学官連携を通じて研究成果を実用化し、社会に貢献することを使命としています。これらの活動を通じて、地域企業をはじめ我が国産業の国際競争力の強化に貢献すると同時に岡山大学の研究活動をさらに高度化・活発化していくことを目指しています。

これらを踏まえ、学内研究プロジェクト等の戦略的推進、産学官連携の推進、知的財産の管理・活用・保護等を担う全学のワンストップセンターとして機能すべく、積極的な活動を展開することとしています。

当機構は、これまでの研究推進本部、産学官連携本部、知的財産本部、医療系本部の各本部、産学官融合センター、新技術研究センター(4本部2センター)で構成しています。(岡山大学シリコンバレーオフィスは平成 30 年 11 月末をもって廃止)

大学の研究推進と産学官連携活動は相互に関連していることから、当機構では 4 本部、2 センターが相互に連携・協力して岡山大学の理念と目的の実現に向けて活動しました。

なお、上記の業務の遂行にあたっては、平成 24(2012)年 9 月に設置された URA(University Research Administrator)とも適切に情報共有を図り連携しております。

(各本部、研究センターの活動内容)

・研究推進本部

研究推進本部は、本学が世界最高水準の研究成果を生み出す大学となるべく、学部・大学院研究科等の枠を超えた融合領域の研究をはじめとする研究活動を活性化し、岡山大学の強みとなる研究成果を創出することを目指して、URA と連携しつつ教員の研究活動を支援しています。

また、岡山大学の研究成果を社会に分かりやすく紹介する「サイエンスカフェ」を開催しておりますが、今後は岡山大学が全学的に取り組みを進めている SDGs をテーマとしたサイエンスカフェも実施するなど幅広い世代を対象とした周知・普及活動を行いました。

・産学官連携本部

産学官連携本部は、地元岡山県・中国地域をはじめ全国の大学・産業界・支援機関等とのネットワークを形成し、幅広い産学官連携活動を展開しています。

第一に、社会・産業界のニーズを的確に把握しながら、岡山大学の研究成果(研究シーズ)を広く社会・産業界に発信し、社会実装に向けた応用研究につなげる等、企業との共同研究の促進に取り組んでまいります。特に、異分野融合領域の産学連携、「組織対組織」の本気度の高い産学連携の展開に向けても努力を傾注していくこととしており、この一環として企業等と大学との組織的・包括的な連携を進め、異分野の複数の教員の参加による共同研究をはじめ、自治体や他大学、支援機関等との連携を強化して産業界の課題解決・国際競争力の強化に向けた具体的な連携が図れる体制構築に向けた準備を進める等、総合大学の利点を生かした戦略的な取り組みを推進します。

第二に、中国地域の大学・高等専門学校等(28 校)の連携による広域的な産学官連携事業「中国地域産学官連携コンソーシアム」(愛称「さんさんコンソ」)の活動を鳥取大学と共同で事務局を担い主導的な立場で推進しています。平成 20(2008)年 11 月にコンソーシアム活動を開始して以来満 10 年が経過し、これまで築き上げてきた広域的連携体制と実績の下に、経済界(中国経済連合会)とのさらなる連携強化を図ります。

第三に、(独)中小企業基盤整備機構が設置・運営している「岡山大インキュベータ」と連携し、岡山大学発ベンチャーの支援や入居企業と大学との共同研究支援等を行っています。

・知的財産本部

知的財産本部は、本学教員の研究成果から生まれた特許等の知的財産の創出ならびに管理・活用・保護を行うとともに、これを産業界に移転することにより、大学の知の成果を社会に還元し、それから得られた産業界との連携体制や対価を新たな研究活動に投入してさらなる研究成果の創出につなげる活動を展開しています。

・医療系本部(鹿田キャンパス)

医療系本部は、医療機器開発・創薬等本学の医工連携を促進するとともに、新たな医療関連の研究シーズの実用化のための橋渡し研究の強化と戦略的推進を担っています。また、平成23(2011)年4月に設置された分子イメージングを中心とした医薬・医療機器開発、新医療創造の産学共同研究拠点「おかやまメディカルイノベーションセンター(OMIC: Okayama Medical Innovation Center)」の活動を支援しています。

・産学官融合センター

産学官融合センター(岡山市北区芳賀 岡山リサーチパーク内)は地域の産業界との産学官連携・融合活動の拠点として、教員と企業の共同研究スペースの提供、本格的な共同研究に向けたプレ共同研究の推進に重点を置きつつ、企業技術者の教育(MOT: Management of Technology等のリカレント教育)や岡山大学の研究シーズ発信の場である「岡山大学知恵の見本市」を開催しています。また、「岡山大学研究協力会」の事務局を担っています。

・新技術研究センター

新技術研究センターは、本学の教員・学生が大型プロジェクト・共同研究を推進するための拠点施設です。平成26(2014)年3月末までテニユアトラック教員の研究推進拠点として活用されていましたが、現在は一部に「異分野融合先端研究コア」の教員が入居しています。

・岡山大学シリコンバレーオフィス

岡山大学シリコンバレーオフィスは平成27(2015)年11月、岡山大学の世界戦略を見据えた国際化の拠点として米国シリコンバレー(カリフォルニア州フリーモント市)に開設され、①国際産学官連携、②岡山市や岡山県をはじめとした中四国の企業・研究所・大学とシリコンバレーを中心とした北米への架け橋としての役目(地域貢献)、③本学の国際化と世界戦略を視野に入れたグローバル成長への貢献、という3つのミッションを掲げて活動を開始しましたが、諸事情により平成30年11月末をもって閉鎖されました。



研究推進産学官連携機構
[研究推進本部], [産学官連携本部],
[知的財産本部],
[さんさんコンソ事務局]
(津島キャンパス)



研究推進産学官連携機構 [医療系本部]
(鹿田キャンパス)



[産学官融合センター]
(岡山市北区芳賀岡山リサーチパーク内)



[新技術研究センター]
(津島キャンパス)



[岡山大学シリコンバレーオフィス]
(2450 Peralta Blvd. #222 Fremont,
California USA)